

## テーマ別研修会の報告

今年は、約200名の参加を得て、研修部のテーマ別研修会が8月8日に八尾市のプリズムホールでもたれました。

第1分科会は、「障害児の医療的ケア」について、大阪教育大学名誉教授で医学博士の小西正三先生を迎えて、肢体不自由を中心に、様々な医療的な問題をかかえた子どもたちへの医療的ケアについて教えていただきました。お医者さんに聞くときのコツを教えていただいたり、医療的ケアのとらえ方も時代と共に変わることも新しい発見でしたという感想が多数寄せられました。



第1分科会



第2分科会

第2分科会は、「発達支援のあり方とネットワーク作り」について、大阪市発達障害者支援センター所長の近藤伸爾先生の講演で、発達障害の子どもたちへの支援のあり方と適切な支援を得るためのネットワーク作りについてお話いただきました。実体験にもとづいたお話で具体的に楽しくきかせていただきましたという感想で、現場で生かせる内容が多々ありました。

第3分科会は、「発達障害児の指導・支援」について、大阪府健康福祉部の伊丹昌一先生の講演で、発達障害の子どもたちの理解と指導、支援に関する具体的な方法についてお話いただきました。困った行動についての理解と支援の手順を明快に話して下さい、具体事例についても助言いただきました。応用行動分析がよくわかりましたという感想が寄せられていました。



第3分科会



第4分科会

第4分科会は、「個別の教育支援計画の作成と展開」について、大阪府立岸和田養護学校教頭の小塚敏憲先生の講演で、子どもたちの「個別の教育支援計画」作成の実際と具体的な展開についてお話いただきました。「個別の教育支援計画」の作成についてはとても良く分かりありがとうございましたという感想が寄せられていました。この講演内容以外に特別支援教育の具体的な進め方の研修の要望が多数寄せられました。

第5分科会は、「てんかんを持つ子どもたちへの支援とケア」について、大阪教育大学附属養護学校の坂下茂先生の講演で、てんかんを持つ子どもたちの理解と具体的な支援の方法についてお話いただきました。各自の疑問点を出し合って一問一答形式で答えてもらえ良かったという感想が寄せられていました。



第5分科会



第6分科会

第6分科会は、「性に関する課題のある子どもたちの理解と対応」について、大阪知的障害者育成会地域支援担当の中村昭代先生と、日本自閉症協会近畿ブロック代表理事の大橋一予先生の講演で、発達に障害のある子どもたちが、思春期を迎えるにあたっての性の問題の理解と実際の指導についてお話いただきました。いろいろな学校の先生方の悩みも聞いてよかったという感想が寄せられていました。

どの分科会も質疑応答まで熱心な対話が行われ、とても有意義な研修会となりました。